

整理番号：9-3

提言題名：取手駅東口駅前活性化について

**【提言の内容】**

通勤で毎日取手駅を利用しています。最近では東口のコンビニの向かいに店が出来たり、いろいろと変わってきましたが、それだけにパチンコ店の空き店舗など、放置されたものが目につくようになりました。それらは市のものではないので、直接手をつけることは出来ないと思いますが、どんどん人口が減っている中で、市のシンボルである駅前が穴だらけというのは苦しいと思います。

例えば、東口の交番沿いはシャッターだらけですが、JRに許可をもらって壁画を描き（または色を塗り）シャッターを目立たないようにするというのはどうでしょうか。

また、パチンコ店跡地についても、リボンとりで3階の窓口のように市が利用するというのはどうでしょうか。

（令和元年12月受付）

**【回答】**

○東口交番沿いのシャッターに市で壁画や色を塗ることについて

過去に取手駅西口線路脇擁壁部分をJR東日本様より借用して、壁画を描いた経緯がありますが、ご提案にございました東口側のシャッターは、商業区分になります。今後どのような店舗が入店されるか分からない点や、入店後のお店のイメージでカラーリングすることもあるかと思われますので、市として実施するのは難しいと思われます。今後とも市政にご助言の程、宜しくお願ひ申し上げます。

（文化芸術課 令和元年12月回答）

○パチンコ店跡地の市での利用について

パチンコ店跡地については、ご意見にありますように市所有ではないことから、その利活用については、所有者においてご検討いただく形になります。

ご提案いただきました内容について、市としましては、駅周辺の活性化のためにウェルネスプラザを設置したり、本年12月下旬には芸術を体験できる「たいけん美じゅつ場（VIVA）」をボックスヒル取手内に新たに設ける等の形で、人が行き交う駅前となるような施策展開を行っております。また、取手駅西口に一番近いA街区の再開発事業についても現在進めているところであり、こちらについても更なる人の対流・交流をつくるものとして推進してまいります。

（政策推進課 令和元年12月回答）